

ホクト株式会社

2025年3月期第1四半期 決算説明資料

2024年8月19日

東証プライム市場：1379



1. 2025年3月期第1四半期 決算報告

2. 最近の取り組み事項について

3. 参考資料

1

国内きのご事業において、野菜相場高の影響により
きのご単価が堅調に推移し、増収

2

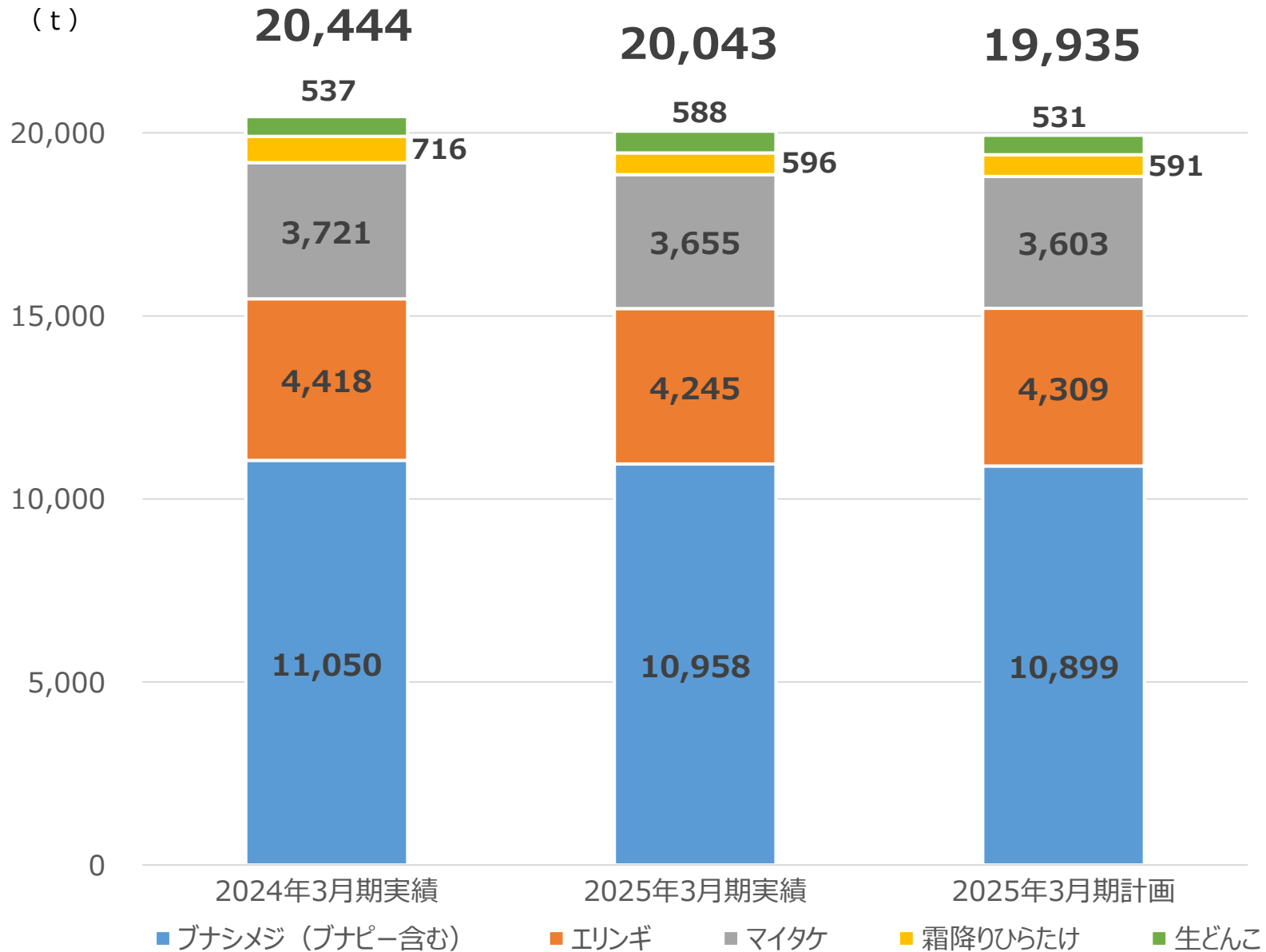
電力費等のコスト削減により、1Q営業利益黒字

国内きのこと事業において、3月下旬からの荒天と低気温により野菜の供給量が減少し、野菜相場が高い水準で推移したことで、きこの単価も堅調に推移し、増収増益。

(百万円)

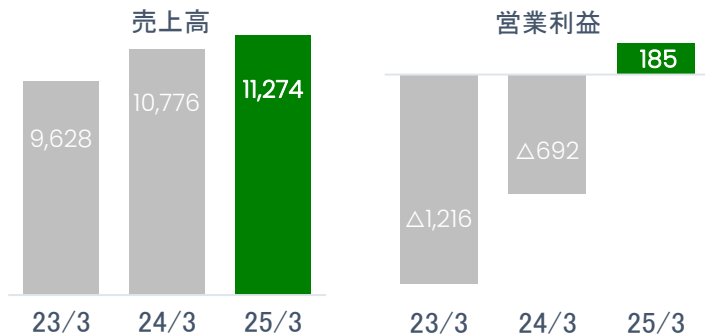
	2024年3月期 第1四半期	2025年3月期 第1四半期	前期比増減額	前期比増減率
売上高	16,849	17,825	976	5.8%
売上総利益	2,618	3,995	1,376	52.6%
売上総利益率	15.5%	22.4%		
販管費	3,867	3,991	124	3.2%
営業利益	△1,248	3	1,252	—
営業利益率	△7.4%	0.0%		
経常利益	△304	923	1,227	—
経常利益率	△1.8%	5.2%		
当期純利益	△332	602	935	—
当期純利益率	△2.0%	3.4%		
一株当たり利益	△10.50円	19.00円		

▶▶ 2025年3月期第1四半期 きのこ生産量の推移(連結)



国内きのこ事業

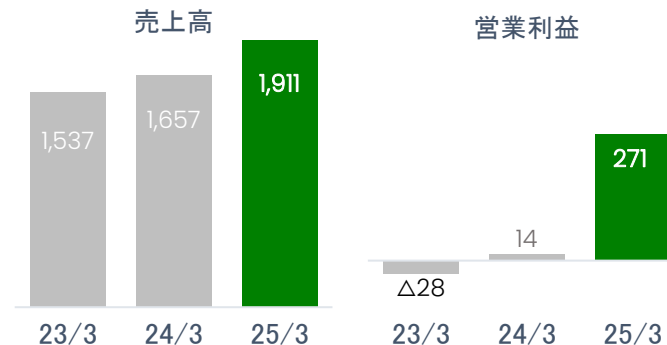
- ✓ 野菜相場高により、きのこ単価が堅調に推移し **増収増益**



海外きのこ事業

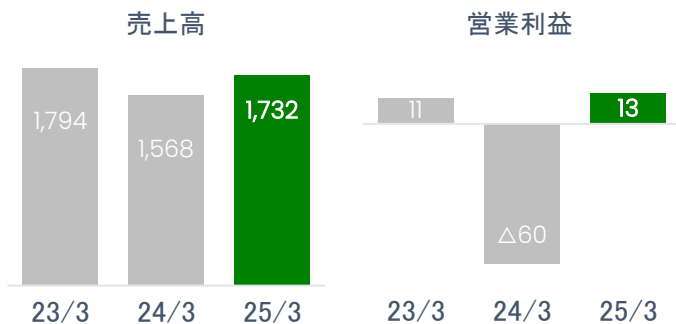
（単位：百万円）

- ✓ 主にアメリカで新規顧客の拡大が順調に進み **増収増益**



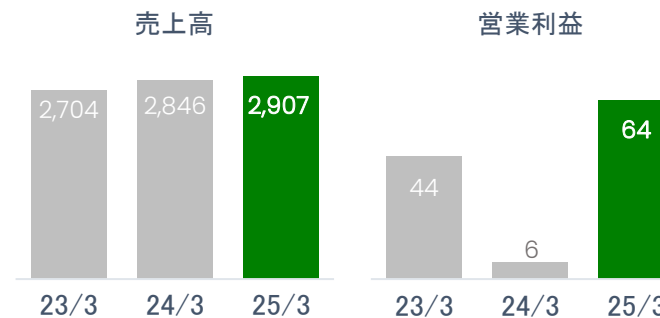
加工品事業

- ✓ アーデンにおいて、値上げ後の受注の落ち込みが徐々に回復し **増収増益**



化成品事業

- ✓ 量販、食品ベンダー向け販売は引き続き堅調
- ✓ 半導体・自動車関連部品メーカー向け販売も回復傾向が強まり **増収増益**



	当社前年対比	当社計画対比
ブナシメジ (ブナシメジ-含む)	109.4%	104.8%
エリンギ	105.3%	102.2%
マイタケ	107.3%	105.4%
霜降りひらたけ	110.8%	103.8%

3月下旬の荒天と低気温の影響で野菜の供給量が減少し、
野菜相場が高かったため、きのこの単価も堅調に推移

	当社前年対比	当社計画対比
ブナシメジ (ブナヒ°-含む)	99.2%	100.6%
エリンギ	96.0%	98.3%
マイタケ	99.1%	101.5%
霜降りひらたけ	83.2%	100.8%

生産量はほぼ計画通り。生産調整の実施により前年を下回る。

		2024年3月期 第1四半期	2025年3月期 第1四半期	前期比増減額	前期比増減率
アメリカ	売上高	610万\$	666万\$	56万\$	9.2%
	営業利益	△31万\$	75万\$	107万\$	—
	為替	144.99	161.07		
台湾	売上高	139百万NT\$	140百万NT\$	0百万NT\$	0.2%
	営業利益	15百万NT\$	24百万NT\$	9百万NT\$	58.9%
	為替	4.66	4.95		
マレーシア	売上高	365万RM	392万RM	26万RM	7.3%
	営業利益	△133万RM	△31万RM	102万RM	—
	為替	30.93	34.12		

(百万円)

	期初計画	2025年3月期 第1四半期	計画差	計画比増減率
売上高	17,620	17,825	205	1.2%
売上総利益	3,490	3,995	505	14.5%
売上総利益率	19.8%	22.4%		
販管費	4,190	3,991	△198	△4.7%
営業利益	△700	3	703	—
営業利益率	△4.0%	0.0%		
経常利益	△612	923	1,535	—
経常利益率	△3.5%	5.2%		

売上原価、販管費の減少により営業利益は計画を上回り、
また、円安に伴う為替差益の発生で経常利益も計画を上回った

(百万円)

		期初計画	2025年3月期 第1四半期	計画差	計画比増減率
国内きのご事業	売上高	11,120	11,274	153	1.4%
	営業利益	△367	185	552	—
海外きのご事業	売上高	1,969	1,911	△58	△3.0%
	営業利益	258	271	13	5.2%
加工品事業	売上高	1,663	1,732	69	4.2%
	営業利益	△21	13	34	—
化成品事業	売上高	2,867	2,907	39	1.4%
	営業利益	10	64	53	500.0%

		期初計画	2025年3月期 第1四半期	計画差	計画比増減率
アメリカ	売上高	720万\$	666万\$	△53万\$	△7.5%
	営業利益	83万\$	75万\$	△7万\$	△9.5%
	為替	149.30	161.07		
台湾	売上高	157百万NT\$	140百万NT\$	△17百万NT\$	△11.0%
	営業利益	29百万NT\$	24百万NT\$	△4百万NT\$	△14.5%
	為替	4.70	4.95		
マレーシア	売上高	435万RM	392万RM	△43万RM	△9.9%
	営業利益	△59万RM	△31万RM	27万RM	—
	為替	31.50	34.12		

1. 2025年3月期第1四半期 決算報告

2. 最近の取り組み事項について

3. 参考資料

◆ アドバンテッジアドバイザーズ株式会社との事業提携及び資金調達の目的

当社は2024年3月にアドバンテッジアドバイザーズ株式会社がサービスを提供するファンドへ転換社債型新株予約権付社債を発行し資金調達を行うと共に、アドバンテッジアドバイザーズ株式会社と事業提携契約を締結し、成長戦略の策定及び達成に向けて全社的な取り組みを推進



事業面

- 数々の企業へハンズオンでの経営サポート・改革実績が豊富なアドバンテッジアドバイザーズのノウハウやネットワークを活用した成長加速
- 中期経営計画を策定し、実現に向けて海外・新規事業の展開加速や営業/生産活動の高度化/効率化、組織体制の構築等、全面的な支援を想定

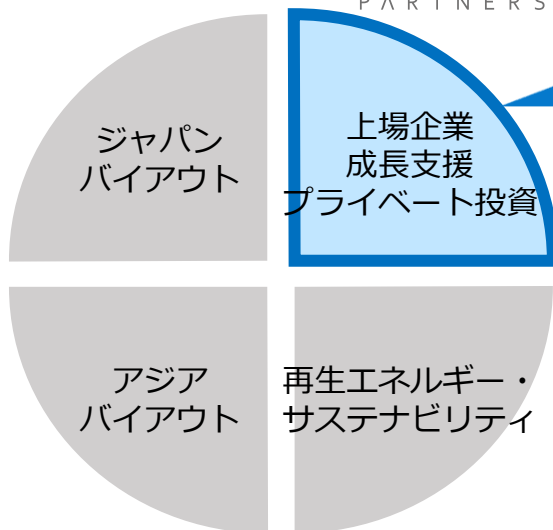
財務面

- 転換社債型新株予約権付社債の発行により100億円を調達
- 海外市場での拡販に向けた調査・設備投資、より効率的な栽培技術の確立に向けたR&D・設備投資、新市場/新規事業領域への進出を目的としたM&Aの原資とする想定

アドバンテッジパートナーズ(AP)グループはプライベートエクイティ投資のパイオニアであり、そのノウハウを最大限に活用していく

理念
わたしたちはファンド投資先企業を、ファンドから離れた後も競争力ある企業として発展し得る企業へと育成し、単にファンドとその投資家に価値提供をするにとどまらず、ほかの株主、従業員・家族、取引先、金融機関など、すべての関係者がファンドの投資を通して経済価値を享受できるように、投資実行のプロセス、投資後の経営プロセスをサポートします。

アドバンテッジパートナーズ 4つの投資戦略



アドバンテッジアドバイザーズ Advantage Advisors

国内プライベート・エクイティ・ファンドのパイオニアであるアドバンテッジパートナーズグループの中で、上場企業の株式等を取得するとともに、経営陣と一体となって企業価値向上に取り組む投資戦略（上場企業成長支援プライベート投資）を担当

<戦略的パートナー>

- (株)日本政策投資銀行*
- (株)NTTドコモ

<直近の主な実績>

- (株)アサンテ
- (株)ツバキ・ナカシマ
- サンフロンティア不動産(株)
- (株)ルネサンス
- (株)コシダカホールディングス

*日本政策投資銀行はアドバンテッジアドバイザーズ成長支援投資事業有限責任組合に対して2019年より支援を行っており、同ファンドからの投資案件について、「特定投資業務」の要件（政策目的（①地域経済の活性化、または②我が国企業の競争力強化および、③民間による自立的な成長資金の供給促進）と事業要件（経営支援の有効活用・経営の革新・生産性収益性の向上））に合致するものについて同業務を活用している。今回、本件についても同業務を活用しての支援が行われる。

◆ 当社の事業戦略推進におけるアドバンテッジアドバイザーズの付加価値

事業戦略推進に向けて、2024年4月よりテーマごとに8つのPJを発足

当社の事業戦略の方針

事業成長	国内 きのこ	<ul style="list-style-type: none"> 価格戦略の高度化 需給調整の高度化 消費者ニーズの喚起
	生産 本部	<ul style="list-style-type: none"> 原価低減 オペレーション改善
	海外 きのこ	<ul style="list-style-type: none"> 米国：利益改善・拡販 台湾：シェア向上 マレーシア：事業立て直し
	加工品	<ul style="list-style-type: none"> 加工品(原料含む)の販売強化 子会社の収益性改善
	化成品	<ul style="list-style-type: none"> 取引先拡大 原価低減による利益最大化
	新規事業	<ul style="list-style-type: none"> 戦略立案 (M&A含む) 事業開発
組織強化	DX推進	<ul style="list-style-type: none"> 全社的な業務プロセス変革 会社運営の基盤構築
	組織改編 人財採用	<ul style="list-style-type: none"> 組織 / 人事制度の改善 外部人材の活用

アドバンテッジアドバイザーズの付加価値

【継続的な企業価値の向上に資する経営支援】

- ✓ 多くの企業の新規事業やプライシング戦略/海外戦略をリードしてきた実績・知見を活用
- ✓ 戦略助言に留まらず、効果発現まで徹底したPDCA管理を実施し、確実な業績向上に寄与

【豊富なM&A実績に基づく知見・ノウハウ】

- ✓ APグループとして過去累計100件以上の投資実績の過程で培われたFAとの強固なネットワークとPMIに至るM&A全般の知見を活用

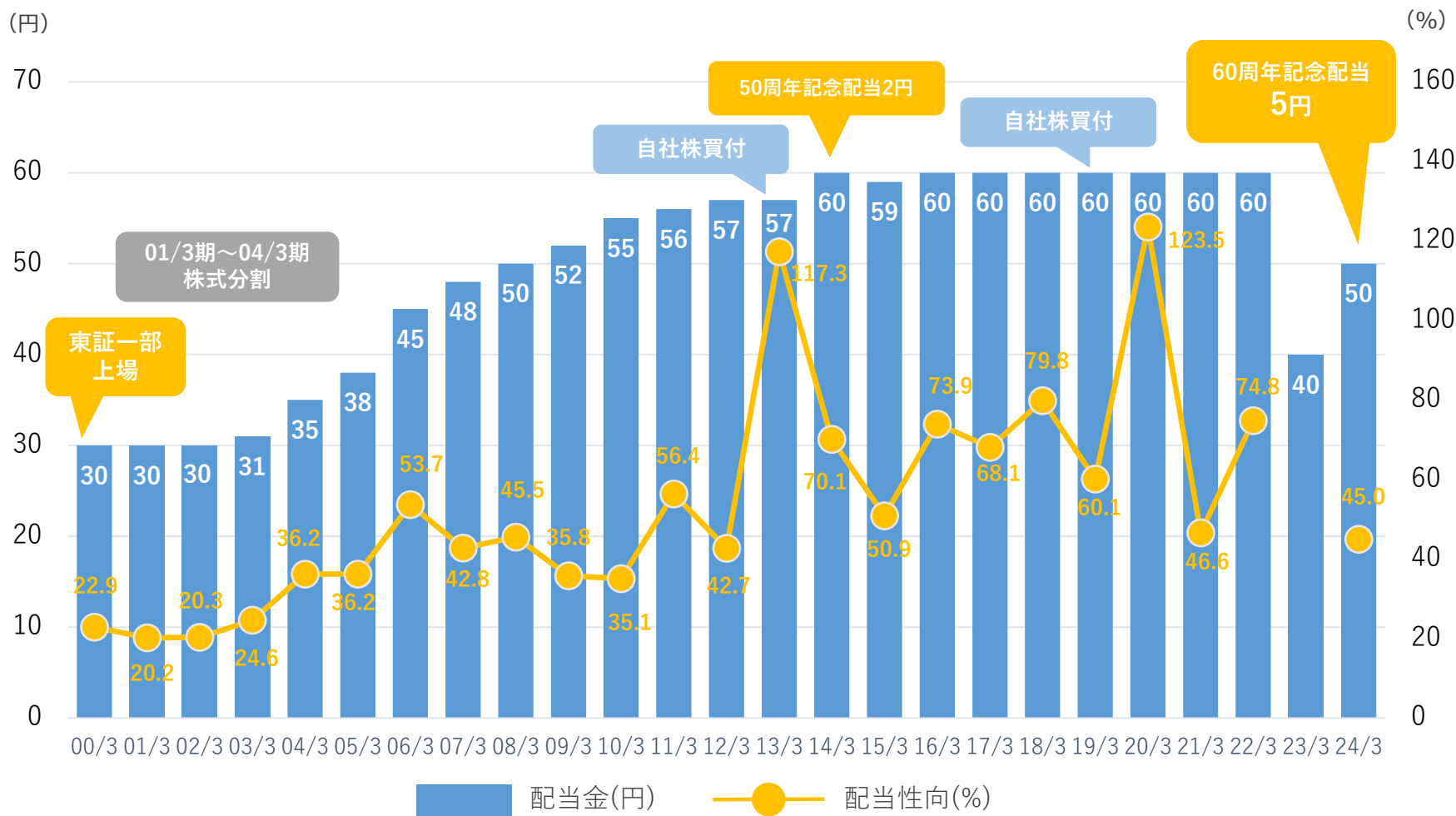
【組織強化を実現する強固なネットワーク】

- ✓ AAの業務提携パートナーであるNTTドコモのDXノウハウ・技術の活用
- ✓ 各投資先での人材採用実績及びノウハウと優良エージェントとの強固なネットワーク
- ✓ 人材が最大限活躍できる組織づくりの知見を活用

1. 2025年3月期第1四半期 決算報告

2. 最近の取り組み事項について

3. 参考資料

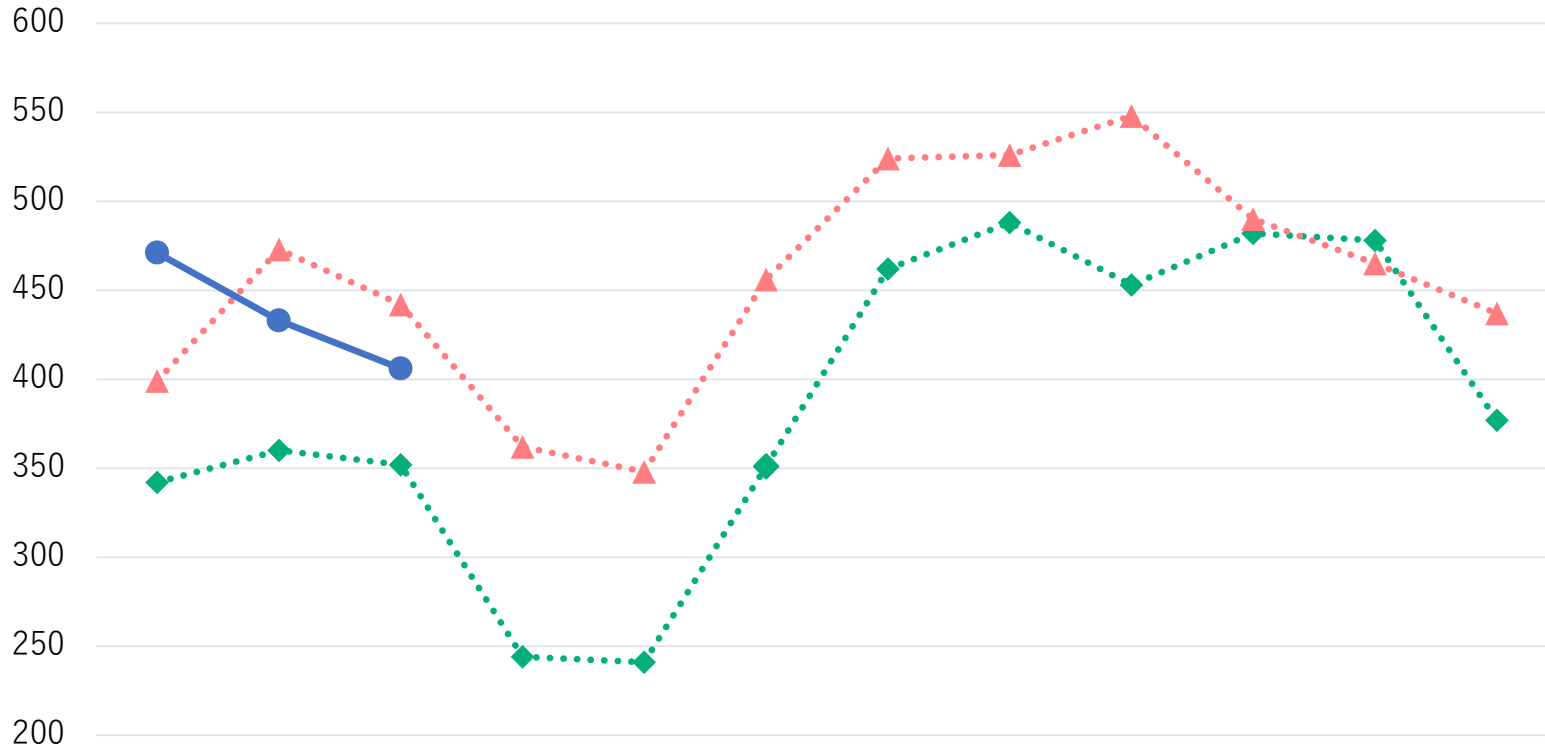


2025年3月期中間配当は10円を予定。期末配当金額は未定。

▶▶ (参考)ブナシメジ 市場取引価格の推移

(円/kg)

月次の価格推移(2022～2024年度)

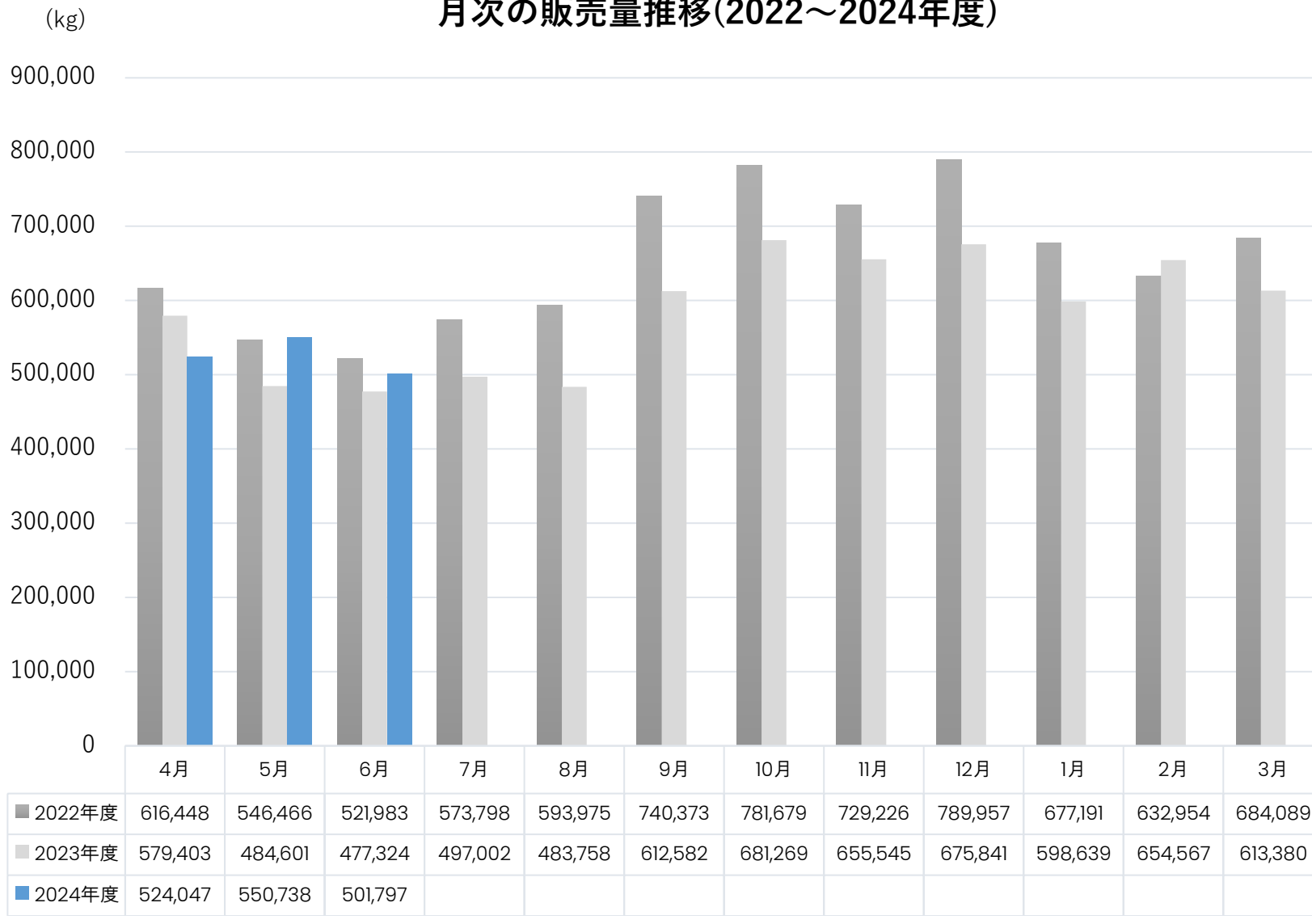


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
●◆● 2022年度	342	360	352	244	241	351	462	488	453	482	478	377
●★● 2023年度	399	473	442	362	348	456	524	526	548	490	465	437
●●● 2024年度	471	433	406									

平均価格
392
462
437

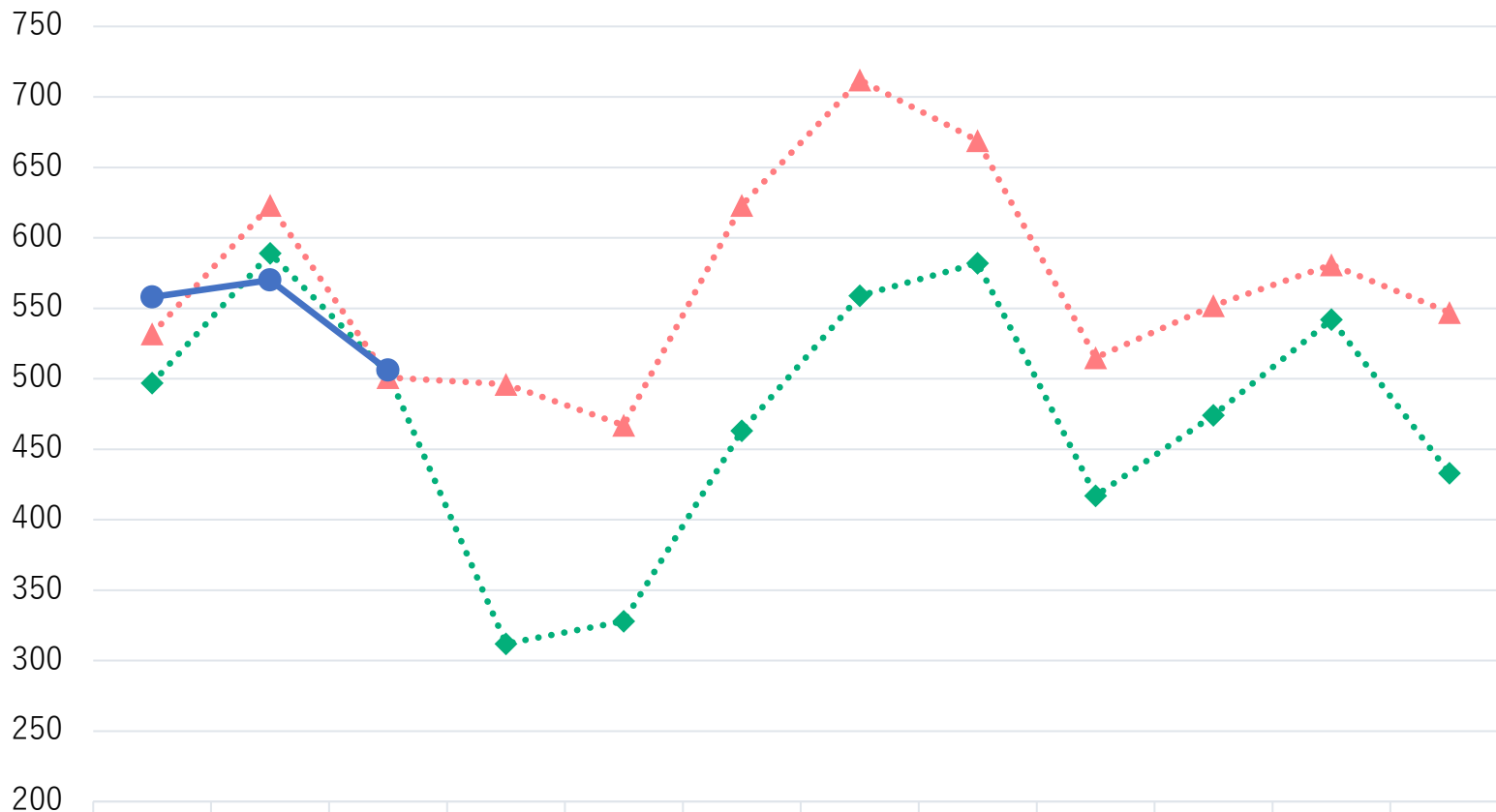
▶▶ (参考)ブナシメジ 市場販売量の推移

月次の販売量推移(2022～2024年度)



▶▶ (参考)エリンギ 市場取引価格の推移

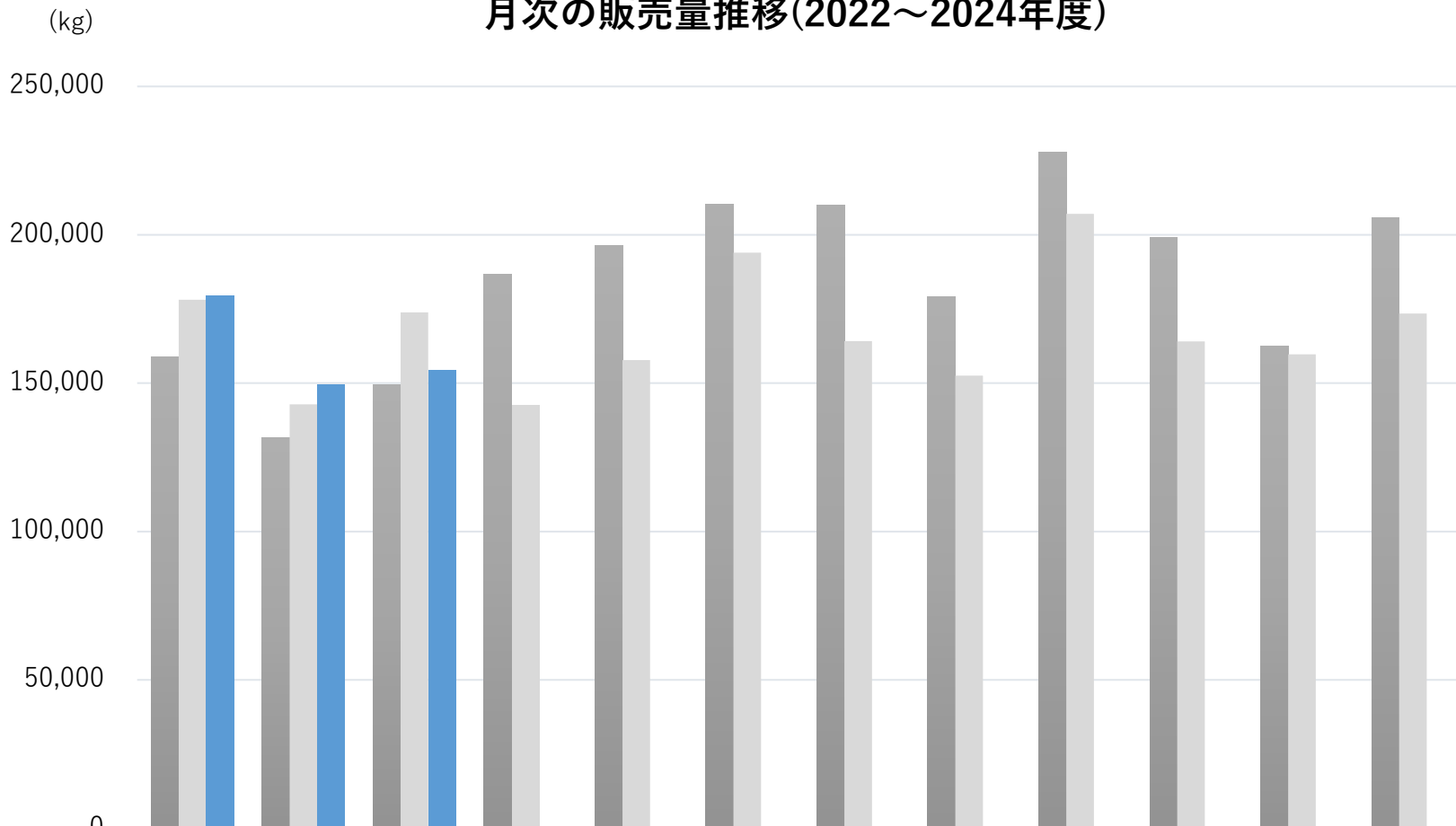
(円/kg) 月次の価格推移(2022～2024年度)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
●◆ 2022年度	497	589	504	312	328	463	559	582	417	474	542	433
◆★ 2023年度	532	623	501	496	467	623	712	669	515	552	581	547
● 2024年度	558	570	506									

平均価格
469
567
545

月次の販売量推移(2022～2024年度)

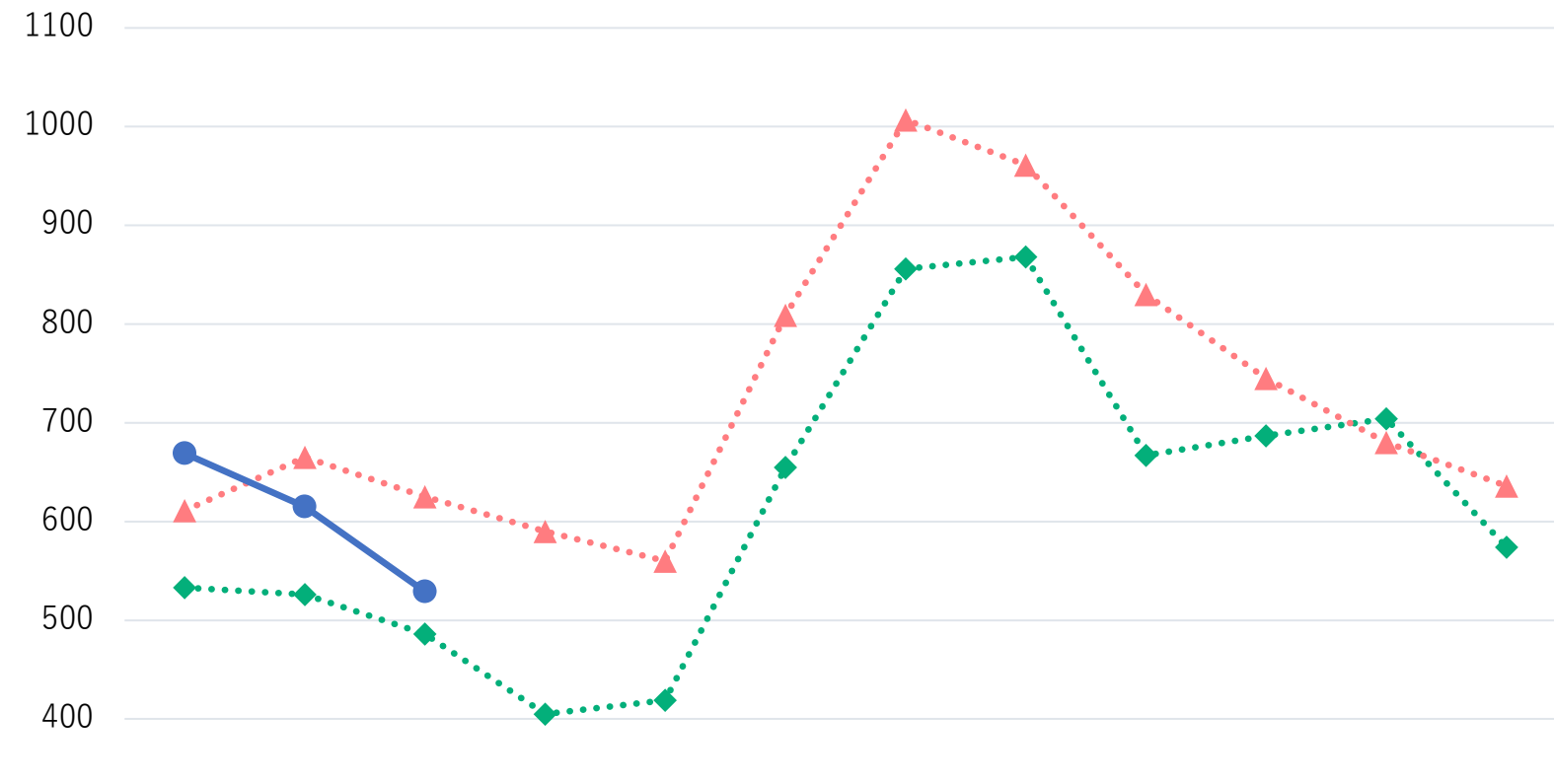


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
■ 2022年度	158,935	131,713	149,345	186,769	196,388	210,444	210,127	179,210	227,739	198,972	162,496	205,836
■ 2023年度	178,160	142,883	173,845	142,805	157,773	193,964	164,152	152,593	207,053	164,107	159,737	173,516
■ 2024年度	179,605	149,546	154,387									

年間販売量
2,217,974
2,010,588
483,538

▶▶ (参考)マイタケ 市場取引価格の推移

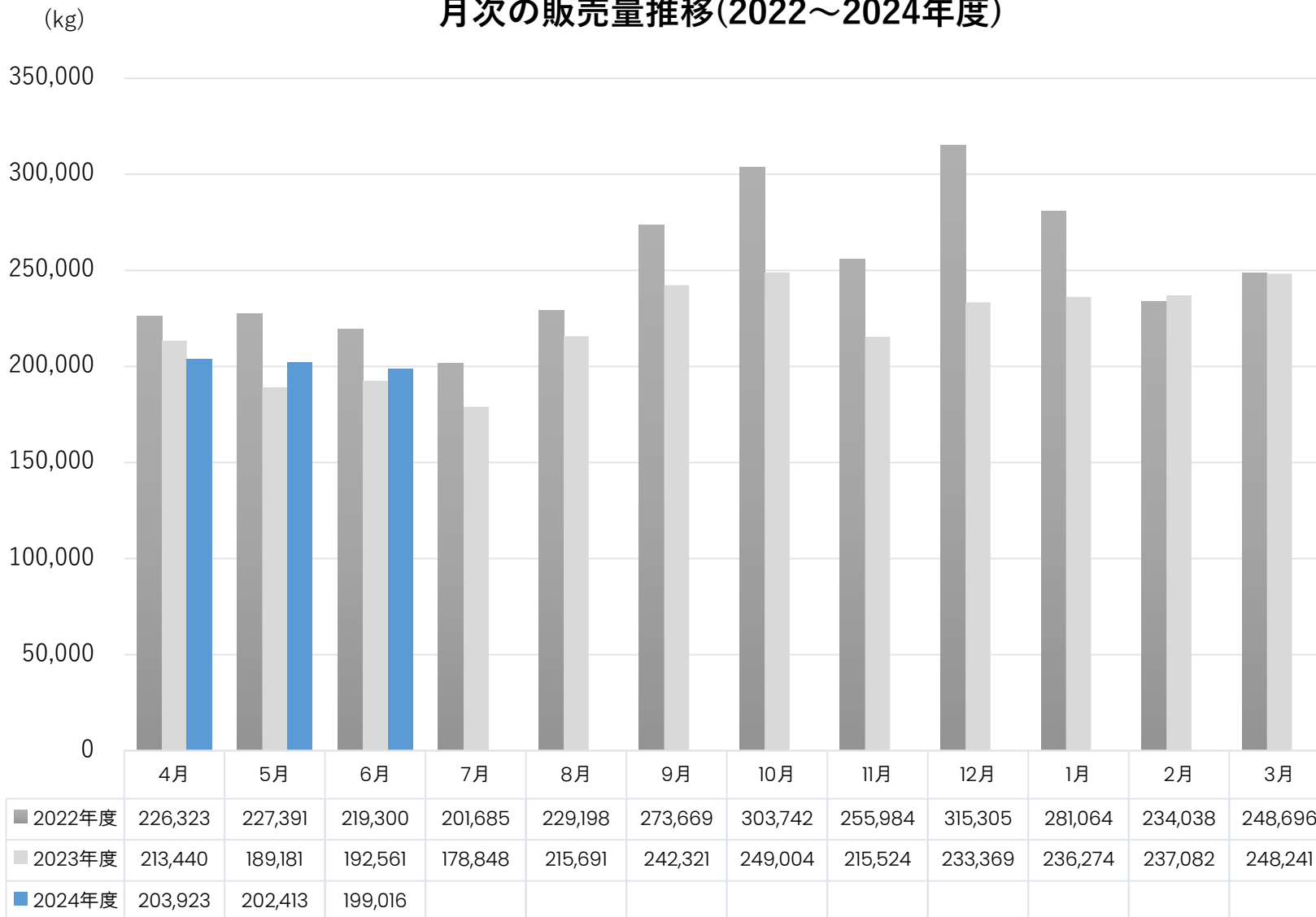
(円/kg) 月次の価格推移(2022～2024年度)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
◆ 2022年度	533	526	486	405	419	655	856	868	667	687	704	574
▲ 2023年度	611	665	625	590	560	809	1007	961	830	745	680	636
● 2024年度	669	615	529									

平均 価格
629
734
605

月次の販売量推移(2022～2024年度)





HOKTO ホクト株式会社

所在地	長野県長野市	時価総額	63,382百万円 (2024年6月末)
代表者	代表取締役社長 水野雅義	株主資本	52,397百万円
証券コード	1379	従業員数	4,096人
上場市場	東京証券取引所プライム市場	主要事業	きのこの生産・販売
発行済株式数	33,359,040株		(2024年3月末現在)



ホクト産業株式会社
化成品の製造・販売



HOKTO KINOKO COMPANY
北米でのきのこ生産・販売



株式会社アーデン
レトルトパウチ食品の製造



台湾北斗生技股份有限公司
台湾でのきのこ生産・販売

株式会社サン・メディカ

Mushroom Wisdom, Inc,

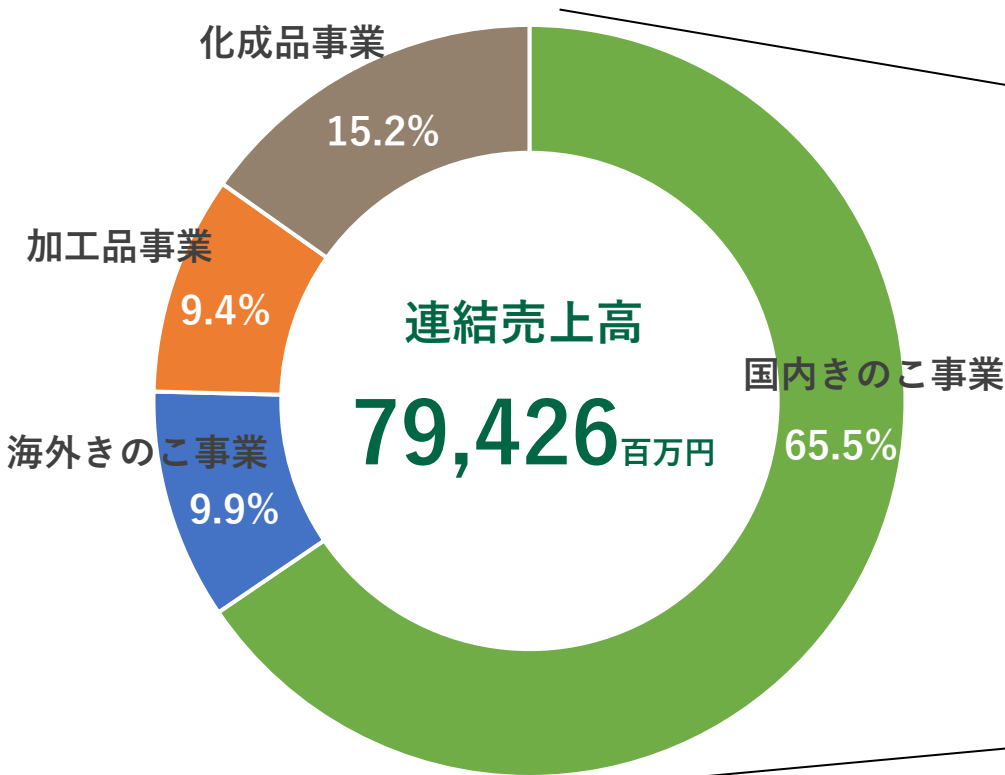
PT HOKTO INDONESIA MATERIALS



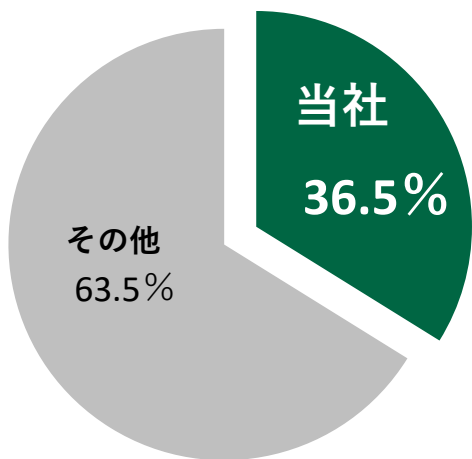
HOKTO MALAYSIA SDN.BHD.
東南アジアでのきのこ生産・販売

セグメント

きのこ生産量

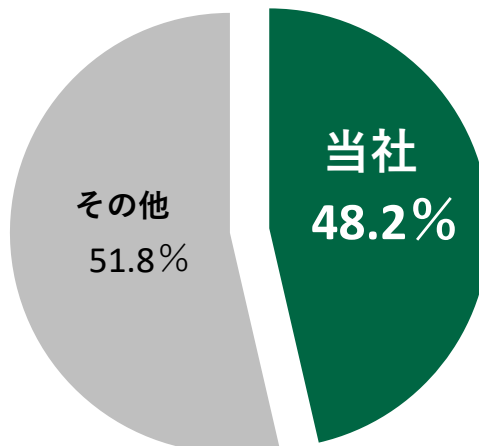


ブナシメジ



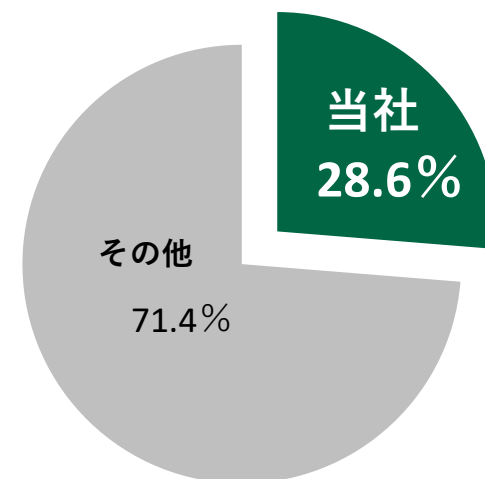
国内総生産量
122,840 t

エリンギ



国内総生産量
37,798 t

マイタケ



国内総生産量
56,763 t

IRに関するお問い合わせ

管理本部 広報・IR室

TEL: 026-259-5955

ホクト株式会社

